

令和 2 年度第 1 回 北上市在宅医療介護連携推進協議会

主催：北上市・北上市在宅医療介護連携支援センター

6 月 2 日、北上市文化交流センターさくらホール小ホールにて
令和 2 年度第 1 回北上市在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。
協議内容は下記のとおりです。

- 1) 令和元年度北上市在宅医療介護連携推進事業報告
- 2) 令和 2 年度北上市在宅医療介護連携推進事業計画(案)について
- 3) 新型コロナウイルス感染症対策に係る在宅医療介護連携について

今回から、北上地区消防組合消防本部救急係長武田健氏、立正堂医院院長
及川浩平氏の 2 名が新たに協議会メンバーとして加わりました。また、岩手
県長寿社会課主任湯澤克氏にはオブザーバーとして参加していただきました。

事業報告では、心づもり事業において、北上市で取り組んでいる「わたしのきぼうノート」が全国に発信されたこと
や、ノート発行から今までに約 4000 冊が北上市民の皆さんのお手元に届いている、などの報告がありました。
在宅医療・救急連携セミナー参加報告では、取り組みについてはそれぞれの地域の現状に委ねられている現状があり、
来るべき多死社会と超高齢社会に向けて連携ルール作りが必要と確認されました。令和 2 年度北上市在宅医療介護連
携推進事業計画(案)の提案に続いて、新型コロナウイルス感染症対策に係る在宅医療介護連携について協議が行われ
ました。感染予防・フレイル予防について、また、現在地域で起きている問題などについて意見交換が行われました。今
後は、他県のさまざまな事例を参考に、対応策の検討を行っていくことを確認しました。



200Mで開催 第 16 回・17回ケアラボ@きたかみ

主催：北上市、北上市在宅医療介護連携支援センター、
北上市地域包括支援センター主任ケアマネ部会

今年度のケアラボ@きたかみは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、3密を避ける観点から、Zoomによる
オンライン開催となりました。初のZoomによるオンライン開催となった第16回ケアラボ@きたかみは、7月31日
19時スタート。39名が参加、7つのトークルームに別れ「2021の多職種連携ってどうなると思う？～アフターコロナ
を考える～」をトークテーマに話し合いました。第17回ケアラボ@きたかみは、10月23日19時スタート。38名が参
加、「わたしだったら、どんなひとに〇〇〇してもらいたいかな？」をトークテーマに、今の職種になったきっかけや仕事
のやりがい、今取り組みたいことなどについて話し合いました。生活のさまざまな場面で制限が求められるコロナ禍、
対人支援の専門職である私たちは、この行き詰った状況に、思考停止することなく、それぞれが専門職として考え、発
言できる思考を持つことが大切です。

オンライン開催のため、従来のケアラボのように、事例提供を通して多職種で話し合いを行うスタイルは取りません
でしたが、画面越しではあるものの、相手の表情やリアクションを見ながら話をするということは非常に大切なこと
と、参加者それぞれが実感されたのではないのでしょうか？いつものように笑顔にあふれたケアラボとなりました。

シンポジウム 在宅・施設看取りを考える

◆主催◆ 北上市在宅医療介護連携支援センター・北上市 ◆共催◆ 北上医師会・北上地区消防組合

8月5日北上市文化交流センターさくらホールにて、シンポジウム「在宅・施設看取りを考える」が開催されました。例年、医療介護・福祉・行政が顔の見える関係づくりのため研修会を定期的に行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で今回が初となりました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、会場参加人数を制限し、Zoomによるオンライン参加もできるようにしました。会場は検温と消毒、席を間引くなど感染防止策を徹底し、会場参加44名、オンライン参加79名の123名の皆さんが参加しました。

医療・介護・救急それぞれの立場から、社会福祉法人清智会理事長山岡豊氏、特別養護老人ホーム八天の里施設長高橋智子氏、ホームケアクリニックえん看護部長高橋美保氏、北上地区消防組合救急救命士森綱之氏、の4名をシンポジストに迎え、柴内一夫センター長をコーディネーターに、基調講演とシンポジウムが開催されました。

シンポジウムにおいて、ホームケアクリニックえん高橋美保看護部長は、住み慣れた場所で最期まで過ごすために、病気をどう捉えているか、状態が悪くなったときはどうしたいか、どこで過ごしたいかなど、本人・家族の意向を確認しながら丁寧に訪問診療をおこなっている現状を話されました。特別養護老人ホーム八天の里高橋智子施設長は、施設での看取りについて、利用者が回復の見込みがないと判断された場合、家族へ説明して安らかな最期を迎えられるよう環境を整え、普段と変わらない生活で安心感につなげていると話されました。北上地区消防組合森綱之救急救命士は、北上地区消防組合の救急活動の概要や心肺蘇生法を拒否する事例について、法律上、我々は救急要請があれば、救命処置を施して医療機関に搬送するしか選択肢はない、救急要請は、救命医療を求める意味で、関係機関に改めて共通認識を持ってほしいとの立場を示しつつ、我々も多角的に物事をとらえ柔軟に対応できるような教育も重要、と語りました。また、社会福祉法人清智会山岡豊理事長は、看取りの不安と悩み、そして北上市での看取りについて話されました。穏やかな気持ちでお別れができるか、心の負担軽減について、北上市の看取りの課題について、社会の問題、家族の問題を考え、リーダーシップをとって良い方向に持っていくことが望まれていると話しました。

シンポジウム後の参加者とのディスカッションでは、本人と発言力のある遠い親族の意向が違う場合や、急変時の対応、救命処置の拒否、介護現場の連携などの質問にシンポジストも丁寧に答えておりました。

主任ケアマネジャーカフェ



主催：北上市地域包括支援センター主任ケアマネ部会



8月21日、江釣子地区交流センターにて、主任ケアマネジャーカフェが開催されました。今回は、主任ケアマネ取得予定及び希望者も対象とし、17名が参加。改めて、地域全体のケアマネジメントの質の向上と、包括的・継続的ケアマネジメントの実践にむけてともに学び、向上していく、というこの企画の目的を共有し、前回の主任ケアマネカフェにて多く聞かれたキーワード「地域との繋がり」をもとに、「なぜ、地域と繋がりたい？繋がることで自分たちはどうしていきたいか？」をトークテーマに、グループごとに語り合いました。また、コロナ禍においてケアマネとして普段の業務、事業所管理者として大変なこと、不安なこと、悩みなども語り合いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、今回はお茶やお菓子などはありませんでしたが、研修とは違い、和やかなカフェオープンとなりました。



出前講座『幸せに歳を重ねるための暮らしのヒント』が開催されました

主催：黒沢尻東地区交流センター(9/4)・江釣子1区ふれあいデイサービス(9/16)
・和賀地区自治協議会(9/30)

意思決定支援のための市の事業「幸せに歳を重ねるための心づもり」の取り組みから派生して新設された出前講座が、9月に交流センターや公民館で3回開催されました。講座では、わたしのきぼうノートの中の、「わたしの人生プラン」のページを深める内容で、健康長寿の暮らし方について学んだり、日々の暮らしをカードで振り返りながら、自分らしい暮らし方について楽しく意見交換を行いました。「日頃顔を合わせている人同士でも、なかなか話せないことを話せてよかった」等の感想が聞かれました。



北上地区ケアマネジャー連絡協議会

令和2年度第1回研修会・入退院支援研修会

主催：北上地区ケアマネジャー連絡協議会

共催：地域包括支援センター主任ケアマネ部会/北上市在宅医療介護連携支援センター

10月6日、江釣子地区交流センターにて、入退院支援研修会が開催されました。35名が参加、北上地区のケアマネジャーの他に、北上市内3病院の協力をいただき、複数の看護師やソーシャルワーカーが参加、医療ケアチームによる演習と意見交換を行うことができました。「北上市入退院支援のハンドブック」を用いた講義、ホームケアクリニックえん 櫻井茂MSWによる講義「入退院の支援を考える」のあと、事例をととしてケアマネジメントを考える演習を行いました。患者(利用者)や家族等を中心とした医療ケアチームによる支援の重要性、患者(利用者)や家族等への意向確認や適切な情報収集の重要性、とくに、看取りについては、患者(利用者)や家族等の気持ちが揺れて当たり前であることなど、医療ケアチームによる演習をととして、多くを学ぶ機会となりました。



初めての オンラインミーティング講習会

令和2年10月21日(水)

主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

新型コロナウイルス感染対策によって、対面でのミーティング、施設間の移動が難しくなっています。その中でも必要な会議やコミュニケーションを円滑に進められるように、「Zoom」を使って、オンラインミーティングに参加できるように講習会を開催しました。

講師にいわて NPO-NET サポート 事務局長 菊池広人さんを迎え、会場参加者6名、オンライン参加者8名はそれぞれ4~5人のグループに分かれ、実際にミーティングを行いました。講師の方からは、「『Zoom』は代替手段ではなく、質を高めるための新しいチャレンジの機会である」とお話があり、当センターでも今後も研修会等で活用していく予定です。

介護職員のための新型コロナウイルス感染症感染対策研修会

主催 北上市在宅医療介護連携支援センター

介護職員を対象にした新型コロナウイルス感染症感染対策研修会を10月26日、北上済生会病院大会議室にて開催しました。北上済生会病院 感染制御実践看護師 小原直子氏、岩手県立中部病院 感染管理認定看護師 鈴木直子氏に、感染症への正しい理解と予防対策について講義をしていただきました。北上済生会病院小原直子氏からは、「管理者が中心となって毎日の検温や体調管理を行う。また、職員が職場で体調不良を申し出やすい環境づくりも必要になる」と指摘し、「ある程度の行動指針的なものをつくっておくことも大事だ」と話されました。また手指消毒、手洗いの手指衛生の重要性を強調しながらも、頻繁な手洗いは手荒れを増強しかねないため、ハンドローションを使うなどケアの必要性も教えていただきました。

岩手県立中部病院鈴木直子氏からは、使い捨て手袋やマスク、エプロンなどの个人防护具(PPE)の着脱方法を教えていただき、参加者も脱ぎ方を重点的に体験していただきました。感染を防ぐため、脱ぎ方や脱ぐ場所に注意が必要であることを教えていただき、参加者も自身の職場で生かすべく、真剣に取り組まれていました。



秋篠宮皇嗣殿下ご一家と宮内庁
の職員手作りの医療用ガウン

移転しました & 新職員紹介

11月24日北上済生会病院の移転に伴い、北上市在宅医療介護連携支援センターは移転いたしました(電話・FAXは当センター直通です)。

新住所/北上市九年橋3丁目15番33号

北上済生会病院 1階

新TEL/0197-65-6121

新FAX/0197-65-6122

正面玄関を
入って、右手奥
に当センター
はございます



●在宅きたかみ職員●
看護師 照井昌子
が着任しました

●北上市長寿介護課●
課長 佐藤江美
課長補佐 木野涉
包括係長 高橋直子



編集後記

11月24日より移転した北上済生会病院内で業務を行っています。引っ越しが無事終わり、ホッとしていますが、今度は、コロナウイルスの感染が心配されます。皆様も手洗い、うがい、マスクの徹底を心掛け、感染には気をつけていきましょう。

発行/北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市九年橋3丁目15番33号

TEL 019-65-6121

FAX 0197-65-6122

HP; <http://www.zaitaku-kitakami.com/>